

事業概要	概ね1000kW以下の小水力発電事業について、地域主導により事業化するために、地点発掘から、計画立案、事業主体形成支援、事業化可能性調査、手続支援、実施設計、運営支援に至るコンサルタント業務を行います。
部署	業務部
所在地	〒170-0002 東京都豊島区巣鴨2-11-4 第三高橋ビル8階
連絡先	(電話番号)03-5980-7820 (E-mail)info@jasha.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>当協会が目指す社会像を一言で表すならば、地域社会が地域の更新性資源から経済価値を生み出すことで持続する仕組みを作ることにあります。これをSDGsの17の目標にあてはめて表現すると以下ようになります。</p> <p>4.質の高い教育をみんなに: 地域の知恵に支えられた総合的な利水システムをフィールドミュージアムとしても活かし、地域環境と結びついた知恵の伝承を目指します。</p> <p>7.エネルギーをみんなに、クリーンに: 遠く離れた大規模電源に依存した社会ではなく、足下の水資源からのエネルギーを地域に供給することを目指します。</p> <p>8.働きがいも経済成長も: 「ないものねだりではなく、あるもの探しを」と言われるように、小水力のような地域に賦存する資源を活かす事業は、働きがいと経済成長をもたらします。</p> <p>11.住み続けられるまちづくり: 温暖化適応のためには水関連インフラの強靱化が不可欠です。地域の歴史的知恵をいかながら地域主導で取り組む総合的な利水システムの構築を目指します。</p> <p>15.陸の豊かさ: 水田(人工的湿地環境)や里山は手つかずの自然に劣らない生態的豊かさに恵まれています。中山間地域の更新性資源は山林と小河川に支えられており、それを持続化することを目指します。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

分野 脱炭素

○ 賦存量調査・計画立案

長野県飯田市・熊本県水俣市などで地域内全域の調査を行い、開発可能な地点と賦存量を算出して、有望地点の開発計画を立案しました。水俣市では寒川水源水力発電所が実現し、飯田市では上村地区で建設に向けた準備が進んでいます。

環境省が平成21年度から行っている導入ポテンシャル調査・ゾーニング基礎情報調査に代表理事中島が参画し、小水力発電の賦存量、導入可能地点の算出方法を提案、指導して、調査結果がポテンシャルマップや中小水力分析ツールとして公開されています。

○ 主体形成・事業化支援

代表理事中島が山形県エネルギー政策アドバイザーとして県内各地で自治体・地元企業等を集めた研修会の講師を務め、事業化を支援しています。受講した企業が鶴岡市・酒田市・最上町等で調査設計を始めています。また、飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会委員として、上村地区住民がSPCを設立し事業化を進める活動を支援しています。

北海道では2019年に北海道小水力開発株式会社の設立に寄与し、道内各地で地域貢献型小水力発電の開発を進めています。

中島は一般社団法人ローカルグッド創成支援機構(平成30年度環境白書『第1部第1章地域循環共生圏の創造』で紹介された団体)監事も務めており、石川県加賀市、愛知県豊田市等で地域新電力事業者の小水力開発を支援しています。

○ 事業性調査・発電所設計

北海道白老町、岩手県北上市、山形県鶴岡市・西川町、東京都檜原村、福井県おおい町、長野県佐久穂町、熊本県南阿蘇町等で地域振興を目指す小水力発電所の調査設計を行いました。

東京都奥多摩町、兵庫県宍粟市で、自治体が建設するマイクロ水力発電設備の設計を行いました。

○ 地域キャパシティビルディング

全国小水力利用推進協議会が地球環境基金助成を受けて2014～16年度に「インテグレーション・スキルの育成による小水力発電事業の促進」を実施し、研修を受けたインテグレーターが全国で活動しています。この方々を対象に、研修会や、事例・諸制度の情報提供等を行い、活動を支援しています。これまでに榎ノ木谷川水力発電所(福井県)、馬野川小水力発電所(三重県)、ふるさと発電所(高知県)、永吉川水力発電所(鹿児島県)が運転開始しています。

URL <http://jasha.jp/>

上記ソリューションを提供できる地域について

全国

自者の特徴	代表理事中島は1980年代から小水力発電に取り組んでおり、山形県エネルギー政策アドバイザーや長野県飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会委員として地域貢献を目指した具体的支援を行っています。全国小水力利用推進協議会の設立以来の事務局長でもあり、小水力関連企業・団体に幅広いネットワークを有しています。また一般社団法人ローカルグッド創成支援機構監事（別記）として地域新電力と小水力発電事業の連携にも尽力しています。過去半世紀ほど、大小問わず水力発電所建設件数がきわめて少なかったため、経験のある技術者が払底しています。そんな中、当協会には経験豊富な企業局OB・大手コンサルタントOBが所属しており、確かな設計技術があります。上記背景の下で、地点発掘から設計、運転開始後の管理に至るまで、地元人材を育成しながら地域貢献事業を支援しています。
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	小水力発電は河川・砂防・森林ほか幅広い分野が関連し、土木技術に対する理解も必要であることから、事業実現には苦労が伴うことが避けられず、ゴールを見据えて最後までやり通す意志も求められます。当協議会では地域のキャパシティビルディングに務めていますが、地域人材育成や技術教育の力量不足を感じます。

地域のみなさまの 水力開発を支援します

……たとえば

地域の力で小水力発電を実現したい
でも、経験がない、
どうしていいかわからない。

*
この場所は適しているの？
何から手を付ければいいのか？
調査費用はどれくらい？

*
設計は誰に頼むの？
採算は取れるのかな？
必要な手続きは？

*
工事はどうやって発注すればいい？
工事の監督や検査はどうするの？

……そして、
「え？トラブル発生!?」
そんなときにも……

……私たちはこのような問題を
皆様の視点で解決します。

初期段階の調査から、工事発注、運転管理まで、
小水力発電事業をお手伝いいたします。
ぜひ、ご相談ください。

設計や発注の手配



工事の進行管理



現地調査



※写真はイメージです

一般社団法人
小水力開発支援協会

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨2-11-4 第三高橋ビル8階
電話：03-5980-7820 ファクス：03-5980-7065
電子メール：info@jasha.jp ホームページ：http://www.jasha.jp

Environmental Technology Verification

小水力開発支援協会は、
環境省の環境技術実証（ETV）事業における
中小水力発電技術分野の実証機関として、
優れた環境技術普及のお手伝いをしています。



実証試験

環境技術実証事業とは、先進的な環境技術について、信頼できる第三者機関（実証機関）による実証試験の結果を環境省のウェブサイトなどに公表、誰もが閲覧出来るようにすることで技術の普及と環境保全に役立てることを目的とした環境省の事業です。

小水力開発支援協会は、溪流、河川、農業用水などを利用して小規模、小出力の発電を行う技術分野（中小水力発電技術分野）における、実証機関です。

優れた小水力発電技術

小水力開発支援協会が
実際の現場等で実証

客観的
データ

ロゴマークの発行

環境省ウェブサイト
などで公表

申請者（メーカー等）が
製品にロゴマークを表示

環境技術
実証事業
ETV 環境省

地球温暖化対策技術分野
中小水力発電技術
実証番号 No. 120-0000
第三者機関が実証した性能を
web上で公開しています
<http://www.env.go.jp/policy/etv/>

▲このマークが製品に表示されます

詳しくは
WEBで!!

環境技術実証事業

検索

<http://www.env.go.jp/policy/etv>

一般社団法人
小水力開発支援協会

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨2-11-4 第三高橋ビル8階

電話：03-5980-7820 ファクス：03-5980-7065

電子メール：info@jasha.jp ホームページ：<http://www.jasha.jp>